

授業科目名	【G】	行政法(各論)	区分 選択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	行政法の各論部分				担当者	八木 保夫		
授業概要	【概要】	近年では、従来からの伝統的な行政法各論の編別に、新たに発展してきている給付行政の視点や生活者保護を政策課題とする法領域などを加えて再編成した編別構成がとられている。本科目でも、大きく行政組織法(国家行政組織法, 地方自治法等), 生活秩序行政法(警察行政法, 社会保障法等), 生活環境行政法(都市計画法, 環境保全法等)に大別する各論構成を念頭に置きつつ, とりわけ基礎理論として必要な行政組織法, 公務員法, 公物法, 都市計画法, 自然公園法等の法分野を対象として学習する。						
	【到達目標】	行政法総論等で学んだ行政法の総論理論と行政法各論の各個別法分野における法原則・法理論とが, どのように相互関連し合っているかについて理解し, 考えることができるようになる。						
履修条件	行政法概論, 行政法(総論) I・IIを履修済みであることを前提として講義を進める。							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【○】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	事前に憲法概論, 憲法(統治) I・II, 憲法(人権) I・II, 民法概論等を受講済みであることを, 並行して行政法(行政救済法)を受講すること, 次年度以降に, 行政法(地方自治法), 環境法等を受講することが望ましい。							
教科書	授業中に, 適宜, 資料を配布する。							
参考書	(1)原田大樹『例解行政法』(東大出版会, 2013年) (2)大橋洋一『都市法』(有斐閣, 2024年) (3)斎藤 誠, 山本 隆司編『行政判例百選 I・II (第8版)』(有斐閣, 2022年)							
評価方法	授業3回に1回程度の頻度(通算5回程度)で出題する学習到達度確認テストへの回答(45%), 毎回事前に提示する資料の空欄補充課題への回答(15%), 毎回授業終了時に提出する復習課題への回答(30%)に加え, 授業への取組姿勢(10%)等を勘案して総合的に評価する。なお, 不正行為があった場合は大幅減点とする。							
フィードバック方法	毎回事前に提示するレジュメ資料の空欄補充課題の正解を当該授業中において解説すると同時に, 欠席者を配慮して, クラスルーム上にも提示し, 授業終了時に提出する復習課題の正解および学習到達度確認テストの正解を, 課題出題の次の週の授業において解説すると同時に, クラスルーム上にも提示して, 学習内容の定着と振り返りを促す。							
評価基準	身近に存在する行政法の役割・特徴について十分理解し文章等で説明できる者は程度に応じてSまたはA評価, 行政法の特徴についてよく理解できる者はB評価, 行政法で使用される用語の意味について一応の理解ができる者はC評価, C評価に満たない者については程度に応じてDまたはE評価とし, 授業終了時に提出する復習課題の不提出, 学習到達度確認テストでの欠席等, 評価不能な者に対してはF評価とする。							

授業科目名	【G】 行政法（各論）	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	はじめに(ガイダンス)	予習: 行政法に関する基礎的知識の確認(100分)	復習: 行政法各論の編別構成を理解する(80分)			
2	行政組織法(1)(行政主体と行政機関)	予習: 行政組織の仕組みについて調べる(100分)	復習: 行政機関の種類を把握する(80分)			
3	行政組織法(2)(行政機関の相互関係)	予習: 上級機関と下級機関との関係について調べる(100分)	復習: 上級機関の指揮監督権について理解する(80分)			
4	行政組織法(3)(行政機関の権限の代行)	予習: 権限の代行のあり方について調べる(100分)	復習: 権限の委任と代理の違いを理解する(80分)			
5	公務員法(1)(公務員の勤務関係)	予習: 公務員の勤務関係について調べる(100分)	復習: 公務員の勤務関係の法的性格を理解する(80分)			
6	公務員法(2)(公務員の権利)	予習: 公務員の権利について調べる(100分)	復習: 公務員の財産的権利や労働基本権について考える(80分)			
7	公物法(1)(「公物」の概念)	予習: 「公物」について調べる(100分)	復習: 公物概念について理解する(80分)			
8	公物法(2)(公物の種類)	予習: 人工公物と自然公物について考える(100分)	復習: 人工公物と自然公物の相違を理解する(80分)			
9	公物法(3)(公物の管理)	予習: 地方公共団体による公物管理を考える(100分)	復習: 公物に関する条例制定義務を理解する(80分)			
10	都市計画法(1)(法制度の発展)	予習: 都市計画法の歴史について調べる(100分)	復習: 都市概念と法制度との関係について考える(80分)			
11	都市計画法(2)(法構造とその概要)	予習: 都市計画法の構造について調べる(100分)	復習: 都市計画法の概要を把握する(80分)			
12	都市計画法(3)(都市計画の決定手続)	予習: 都市計画決定の手続的流れについて調べる(100分)	復習: 計画決定過程への市民参加について考える(80分)			
13	都市計画法(4)(地域地区制)	予習: 地域地区制の種類を調べる(100分)	復習: 日本の土地利用規制の特徴について考える(80分)			
14	自然公園法(1)(法の目的と概要)	予習: 自然公園法の目的と財産権尊重について調べる(100分)	復習: 自然公園内の地域・地種区分について考える(80分)			
15	自然公園法(2)(行為規制と補償)	予習: 自然公園内の行為規制について調べる(100分)	復習: 違反行為への対応と不許可補償について理解を深める(80分)			
その他	他の履修者の提出物の模倣, 他の者による身代わり回答等, 履修態度が良くない者には厳正に対処する。					